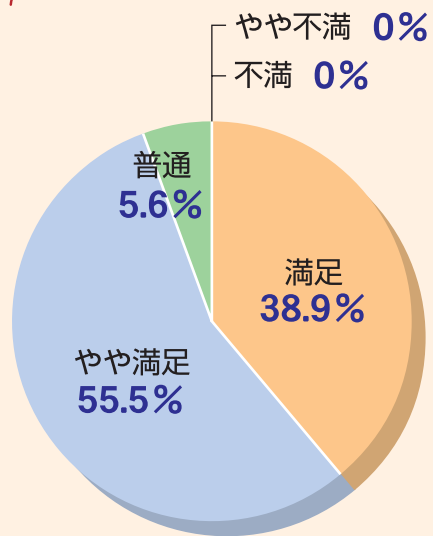


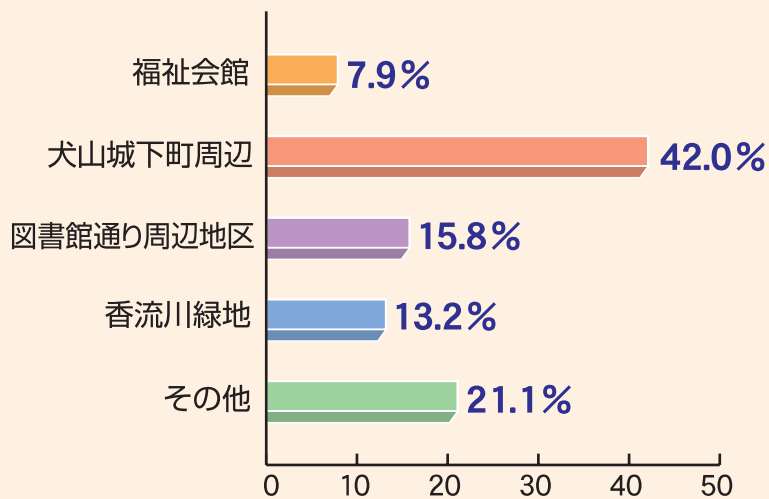
アンケート結果より

講座終了後、参加者の方にアンケートへご協力いただきました。ここでその結果の一部をご紹介します。

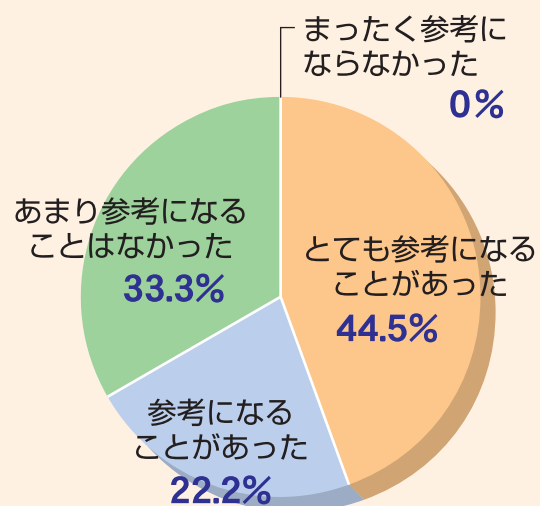
講座の感想を教えてください。



見てまわった所で良かった場所はどこですか？

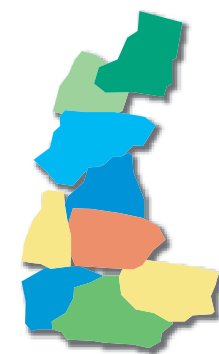


今後の景観づくりの参考になることはありましたか？



参考になること

- 長久手:刈谷にもせせらぎの径のような散歩道があったら。また、堤防を利用した散歩道もアイデア。犬山:高山のミニ版のまちなみ。あったかいまちだった。
- 住宅街の中に水の流れている散歩コースがあるのが、とてもよいように思いました。
- 周辺に川があるのですが、やり方によって自然によい風にとけあえるものだと感じました。
- 刈谷市は亀城公園がありますし、肴町、緒川町等古いまちなみが現存していますので、犬山のように天守閣はありませんが、犬山を参考にして下さい。シンボルの亀城の天守閣は何如ですか。
- 気軽に休めたり集える場所が刈谷にも数ヶ所あると良いと思いました。
- いろいろなまちが、その土地の条件や特色を生かして本気でまちづくりにとりにくんでいる様子を見ることができ、参考になった。今日は、行政側の人の説明を聞くだけであったが、住民側からの話を聞くことができればよいと思った。
- 犬山市は市当局の景観づくりへの熱意が感じられた。長久手町は景観づくりへ市民参加という形でやっていくという姿勢が感じられた。景観づくりへは行政当局のやる気とそして市民参加が必要だと思います。
- 活気のあるまち、住みやすいまち、自然と共生できるまち等を行政の方へお願いし、自分達でできる花を植えたり、クリーンにしたりボランティアで協力したいと思いました。



ひかり結ぶまち

かりや 景観れぽーと

テーマ
かりや景観づくり講座

VOL.15

発行日:平成19年3月15日
発行:刈谷市都市計画課
TEL:(0566)62-1022



今回は、平成15年度から実施している「かりや景観づくり講座」について、ご紹介します。

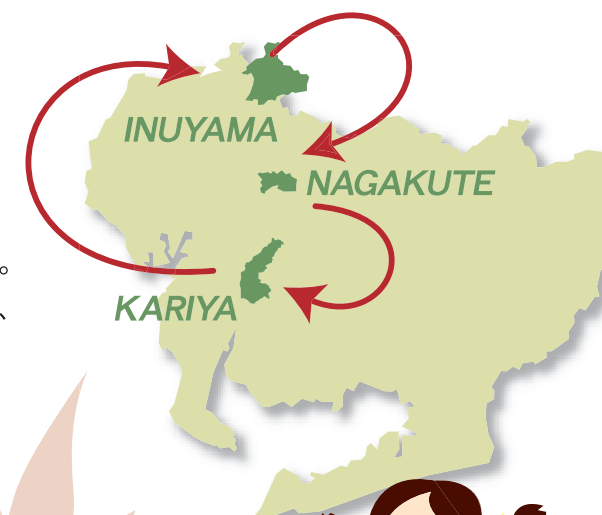
この講座は、市民のみなさんに景観形成に対する意識をより高めてもらい、みなさんの手による都市景観づくり活動や、美しい都市景観の創出につながる機会としていただくことを目的に毎年開催しています。

今年は、平成18年11月に「景観まちあるき犬山・長久手」と題して、刈谷のまちの景観を考えるためのヒントを探しに、お城で有名な犬山市と、去年の万博開催で大にぎわいだった長久手町で景観まちあるきを行いました。

犬山市・長久手町の人に景観づくりのとりくみについてお話しいただき、一緒に景観スポットを巡りました。

景観まちづくりに精力的にとりくんでいるまちを見て、刈谷の景観をもっともっと良くしていくアイデアをたくさん見つけることができました。

みなさんも、いつも目にするまちなみへの見方をちょっと変えて、美しい刈谷の景観づくりをお手伝いください!



犬山市

犬山城下町周辺

「犬山市福祉会館」で、犬山市の人に景観のとりくみについて教わったあと、一緒にまちなみを歩いてまわって、景観づくりのヒントやポイントを学びました。

犬山市福祉会館 犬山市の景観のとりくみ (ミニ講義)

犬山市の城下町地区(中心市街地)は、国宝犬山城や清流木曾川などを背景とし、古くから城下町として犬山独自の文化を育むとともに、近郷の文化や経済の中心地として発展してきたところです。

歴史・文化・伝統という地域の特性を活かして、「歩いて暮らせるまち 歩いて巡るまち」をコンセプトに、魅力あるまちなみづくりが進められています。現在も、電線類無電柱化や道路の美装化整備など、城下町の景観に合ったみちづくりのとりくみが続いているそうです。

ミニ講義の後、城下町のまちあるきをしました。時おり小雨が降るなかでの見学でしたが、見どころがたくさんあって、あっという間に時間が過ぎてしまいました。

刈谷にも古いまちなみが残るところもあり、その参考になったとの声もありました。



■ミニ講義の様子。みんな熱心に聞いています!

■古いまちなみが保全活用され、多くの観光客が訪れています。



■地域のFM放送「まちの放送室」に飛び入り参加して、刈谷のPRをしてきました!

旧磯部家住宅

磯部家は、江戸時代から手広く呉服商を営んでいた「柏屋孫兵衛」という商家でしたが、太平洋戦争後、呉服商から製茶・販売業に転じ、住まいを他へ移した後はつい最近まで倉庫として利用されていました。

平成16年に犬山市がまちづくりの拠点とするために譲り受け、保存修理工事が行われました。現在は一般にも公開されており、TVのCM等にも利用されました。



■登録有形文化財がまちづくり拠点施設として活用されています。

■土蔵は展示スペースとして使われていました。

どんでん館

どんでん館には、犬山祭で曳かれている愛知県有形民俗文化財である車山13両のうち4両が展示されています。犬山祭の映像や往時の城下町を紹介する展示室や、住民が自主的なまちづくり活動を行ったり、来訪者の方への情報提供などを行う交流サロンがあります。再現された城下町のまちなみの中で、犬山祭の勇壮な雰囲気を肌で感じることができました。



■お祭りの1日が光と音で演出されています。

景観

まちあるき

in

犬山・長久手



長久手町

図書館通り周辺地区・香流川緑地

長久手町の人と一緒にまちなみを歩きながら、景観づくりのポイントを教わりました。

長久手町は、良好な住宅地とみどり豊かな田園がバランスよく広がる調和のとれたまちを目指して、公園や道路などの整備でうまいや景観を意識した整備を進め、美しい住宅地として発展してきたところです。図書館通りは、まちのランドマークとなっている中央図書館と水辺の拠点である秋ヶ池公園を結ぶ道路で、景観に配慮した整備がなされています。香流川緑地は、万博会場付近を源流にする川沿いに自然豊かな遊歩道が整備されています。

はなみずき通駅

愛知高速交通東部丘陵線(リニモ)が地下から地上に出てくる駅です。駅前広場は広々としていて、ベンチや噴水もあって、過ごしやすいです。プランターのきれいな花は、地域のみなさんが手入れされていると聞いて、感心しきりでした。



■小雨の降るなか、興味深いお話に聞き入っています!

■万博で大活躍だったリニモの駅は、新しくきれい! 駅前には広場が広がり、とても明るい印象を受けます。

せせらぎの径

全長908mの散策路で、途中には清流が流れ、東屋、「警固まつり」のレリーフ、句碑、彫刻などがありました。

緑いっぱい水の流れもある散歩道は、とても快適で、ついつい歩調もゆっくりになりました。



■刈谷にもほしいなあ!との声がたくさん上がった、水と緑の豊かな散策路です。

■名前のとおり、せせらぎが心地よく流れています。

長久手町図書館通り周辺地区 長久手みなみ (車中から見学)

図書館通りは、まちのランドマークの中央図書館を核に、商業施設等が立ち並び、新しい文化的な雰囲気となっています。

長久手みなみは、豊かな自然環境と住空間が共生する新しいまちづくりが進められていました。



■おしゃれな店が多く、道路にはオブジェやベンチ等が整備されており、歩いて楽しそうなお店でした。

■名古屋東部の文教ゾーンの一部に位置する新しいまちで、豊かな自然がいっぱいの住宅地になるそうです。

香流川緑地・ござらっせ

万博会場付近を源流にした香流川は、夏前には蛍、冬には鴨などが飛来する川で、自然を身近に感じられる遊歩道となっていました。

長久手温泉ござらっせもすぐそばで、あまり時間はありませんでしたが、一休みするにもいいところでした。福祉施設も併設されていて、たくさんの方ににぎわっていましたよ。



■自然を活かした遊歩道は、ウォーキングに最適! 遠くにモリコロパーク(愛・地球博記念公園)の大観覧車が見えました。

■福祉施設と温泉施設が併設され、多くの人ににぎわっていました。